

単元名：

「百年椅子をつくろう」

授業日時 2019年09月02日(木)第3校時

授業学級

1年B組

授業会場

木工室

授業者

指導者

(1) ねらい

生徒は、帯鋸盤と木工やすりをうまく使いこなして、天板を切断し、いすの脚の面取りをすることができる。

(2) 授業のポイント

- ・面取りをする場面で、よりよい製品にするために面取りが必要だと知った生徒達が、木工やすりを使って面取りを行った。【前時までの子どもの様子】
- ・工具を使用する際の安全確認を通して、思いがけない事故に繋がらないよう注意喚起する。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 前時の活動を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に何を行ったのか問いかけることで、活動の内容を思い出すことができるようにする。 ・天板を円状に切断する場合に円の弧の延長線上から切断するように促すことで、安全に天板を円状に切断できるようにする。 ・木工やすりを使用する際に、初めは粗い面を使って面取りし、角度をつけて斜めに、上から下に力を加えて刃渡り全体で削ることで、効率よく精巧に面取り加工を出来るようにする。 	5分
	学習問題：天板を切断し、いすの脚の面取りをしよう	学習課題：帯鋸盤と木工やすりをうまく使いこなそう	
展開	2. 帯鋸盤で天板を切断し、待ち時間に面取り加工をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・帯鋸盤で危険を一緒に確認しながら作業をすることで、安全に木材を切断できるようにする。 ・木工やすりの持ち方や姿勢、削り方が間違っている生徒には、正しい持ち方や姿勢、削り方の方法を示すことで、正しく安全に面取り加工することができるようにする。 	20分
	3. 面取り加工のコツを全体で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒をカメラの録画機能で最初と比べて面取りの方法がどう変化したか取り上げることで、面取りの正しい方法を全体に共有し、正しい面取り加工ができるようにする。 	5分
	4. 面取り加工と天板の切断の作業を再開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・木工やすりの粗い面での面取りが終わった生徒には、細かい面を使って面取りを行うように促すことで、表面を精度高く面取り加工できるようにする。 	15分
		【評価(対象)】 天板を切断し、いすの脚を面取り加工できる。 (製作品)	

終末	4. 振り返り	・本時の授業で作業をしてみて、どのような点が難しかったか、どのような点が良かったかを全体で振り返る場面を設定することにより、今回学んだことを確認することができ、定着できるようにする。	5分
----	---------	---	----

(4)板書計画

学習問題 天板を切断し、いすの脚を面取り加工しよう

学習課題 帯鋸盤と木工やすりをうまく使いこなそう

作業 天板の切断 面取り

